

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立川永小学校
校長氏名	裕間 正子
作成日	令和2年3月10日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 わかる授業を実践した(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる(児童92%) いじめの解消率(100%) 情報モラル授業、年3回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた(児童100%) 市主催のバスケットボール、陸上大会に参加した 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者79.6%) 中学校区で接続・連携した取組を実践できた 学期に1回以上地域の人材を活用した
重点目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の確かな定着 子供主体の授業づくり 家庭学習の定着 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳・人権教育の充実 いじめの未然防止、早期発見 高学年をリーダーとしたチーム学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上の推進 基本的生活習慣の確立 安全教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域との連携充実 幼保小の接続、中学校区における学校間連携の推進 地域の人材及び資源の活用
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書き、そのことを根拠に発言できる授業を行う 授業改善を図るとともに教師の授業力を向上させる 全校児童が自主学習ノートをもち積極的に取り組む 家庭学習及び読書活動を定着させる 	<ul style="list-style-type: none"> 「特別の教科道徳」の充実を図る(情報モラルの学習を含む) 児童及び保護者へのアンケートをもとにいじめの実態把握に努める 児童会活動を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> 月・木はミニバスケットボール、火・金は陸上の朝練を通して体力づくりを行う 定期的に生活調べを行い保護者への啓発を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 便りやホームページを通して学校内の情報を発信する 幼保小中の連携を推進する 授業のゲストティーチャーとして地域の人材を活用する
取組の成果と課題(評価) 【G】	<ul style="list-style-type: none"> 4・5年生共に「書くこと」の領域が県平均を下回った。書く能力を高める手立てを現職教育で考え実践していく 児童の88.1%が毎日の勉強がわかると回答している 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の96.4%が学校は楽しいと回答している いじめ・不登校委員会を定期的に開き、児童の実態把握に努めているのでいじめは100%解消している 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市主催のミニバスケットボール、陸上の大会に参加し、日頃の練習の成果を発揮した 生活調べの結果を学級懇談会や保健だより等で保護者に知らせるとともに、健康的な生活の必要性を促した 	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の総合的な学習の時間で幼保小の連携の取組を行った。中学校とはクラブ見学で交流した 田植え・稲刈り、戦争体験、昔遊び、ミシンの授業、調理実習等学期に一度以上地域の人材をゲストティーチャーとして招くことができ、児童の学習を深めることができた
改善方法 【A】	<ul style="list-style-type: none"> 国語科・算数科を中心として授業の中で「書くこと」を意識的に取り組む 継続的・計画的に家庭学習・自主学習に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態を把握し、いじめや不登校をさせないようにする 挨拶運動や交流活動を継続しコミュニケーションを通して児童の心の教育とする 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度に引き続き、バスケットボールや陸上の朝練を継続し、児童の体力向上を図る 保健だよりを活用したり養護教諭との連携を図り、児童の健全育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の人材をもとに地域や保護者の力を積極的に学校運営に活用できるような取組を工夫する。

3 その他の課題

・学力向上の取組に少しずつ成果が感じられるので、確かな学力の向上に向けてさらに取り組んでいきたい。
 ・コミュニティースクールの取組として、地域や保護者の力を積極的に活用できるような学習計画を立てることに努めた。次年度はさらに地域とのつながりを児童の育ちに生かすことを意識した取組を行っていきたい。
 ・校内研修をより一層充実させるとともに、教師の授業改善及び指導力の向上を目指した取組を継続していきたい。